

## 校内研究

昨年度に引き続き、今年度も、川崎市教育委員会研究推進校として「特別支援教育」の研究に取り組みました。

※校内研究「生活科・総合的な学習の時間」

テーマ「なるほど！もっと知りたい！やってみたい！

～誰ひとり取り残さない TSK を目指して～」

☆2つの TSK☆

TSK：特別支援教育

T：対話的 S：主体的 K：かかわり

○ねらい

特別支援教育の観点（みんなが居心地の良いあたたかい環境づくりや指導・支援の工夫など）を取り入れ、生活科・総合的な学習の時間を中心とした主体的・対話的なかかわり、深い学びを目指した授業づくりに取り組む。

○研究の成果

どの児童も安心して学ぶことができるように、温かい雰囲気のある学級づくりや指導の工夫の研究に取り組みました。

1・2年生の「生活科」では、より主体的に活動できるグループ作りや、どの子にとっても使いやすいワークシートを活用するなどした手立てが、子どもたちの学習意欲の向上につながりました。そして、学習活動に夢中になって取り組み、「できた！」という達成感を感じている姿が多く見られるようになりました。

3年生以上の「総合的な学習の時間」では、地域の方々との交流や外部講師による指導など体験的な活動を積極的に取り入れました。そして、子どもたちは、学習課題の解決に向けて、探究・協働して活動することの良さを感じながら取り組んでいました。

生活科や総合的な学習の時間以外の学習活動においても、教師は児童が同じ土台に立って学習を進められるような指導の工夫をしたり、児童自身が自分に適した学習方法を選択して取り組むことができるようにしたりして、授業改善につながりました。

今後は、これまでの取組を生かしながら、子どもたちがより主体的に学習に取り組むことができる指導計画を立てて実践していく必要があると考えています。

（校内授業研究時の研究協議の様子）